

新規事業採択時評価結果（令和4年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課  
担当課長名：長谷川 朋弘

事業の概要

事業名	一般国道2号 広島南道路（木材港西～廿日市）	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：広島県廿日市市木材港南 至：広島県廿日市市地御前北一丁目	延長	1.5 km		
事業概要	<p>一般国道2号は、大阪府大阪市から福岡県北九州市に至る延長約680kmの主要幹線道路である。</p> <p>一般国道2号広島南道路（木材港西～廿日市）は、広島県廿日市市木材港南から広島県廿日市市地御前北一丁目に至る延長約1.5kmの道路である。</p>				
事業の目的、必要性	<p>一般国道2号広島南道路（木材港西～廿日市）は、地域高規格道路「東広島廿日市道路」の一部を形成し、広島都市圏の交通混雑の緩和及び交通安全の確保、地域経済活動支援等を目的とした道路である。</p>				
全体事業費	約400億円	計画交通量	約6,100～69,300台/日		
事業概要図					

事業評価結果

費用便益分析	B/C	1.4 (0.4)	総費用 12,294億円 (事業費:11,306億円 維持管理費:790億円 更新費:198億円)	総便益 17,530億円 (走行時間短縮便益:15,322億円 走行経費減少便益:1,827億円 交通事故減少便益:381億円)	基準年 令和3年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C= 1.3 (交通量 -10%)	B/C= 1.5 (交通量 +10%)	
		事業費変動	B/C= 1.4 (事業費 +10%)	B/C= 1.4 (事業費 -10%)	
	事業期間変	B/C= 1.4 (事業期間 +20%)	B/C= 1.5 (事業期間 -20%)		
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
		渋滞対策	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>廿日市ICのアクセス経路では、主要渋滞箇所を中心とした速度低下が発生。特にピーク時は、廿日市市中心部の周辺道路で1kmを超える速度低下が多数発生。</li> <li>当該区間の整備により、高速道路のアクセス経路における速度低下区間を回避することで、速達性、定時性を確保し、交通の円滑化に寄与。</li> <li>【木材港西～廿日市ICの所要時間】 現況 6分 → 整備後 1分</li> <li>【平均旅行速度】 現況 25km/h → 整備後 70km/h</li> </ul>	
		事故対策	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>廿日市ICアクセス経路上には事故危険区間（3箇所）が指定され、宮内交差点や上平良交差点などは全国平均を大きく上回る死傷事故率である。</li> <li>当該区間の整備により、高速道路のアクセス経路における事故危険区間を回避。また、交通の転換により事故危険区間の交通量が減少し安全性が向上する。</li> <li>【死傷事故件数（木材港西～廿日市IC）】 現況 44件/4年 → 整備後 40件/4年</li> <li>【事故危険区間数（木材港西～廿日市IC）】 現況 3箇所 → 整備後 0箇所</li> </ul>	
		歩行空間	-	注目すべき影響はない	
	社会全体への影響	住民生活	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>県立広島病院への搬送では廿日市港線等の慢性的な渋滞により、アクセス性に課題がある。</li> <li>当該区間の整備により、円滑な救急救命活動の支援が期待される。</li> </ul>	
		地域経済	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業施設が集積する臨海部では近年産業用地開発が進み企業が進出。加えて、更なる開発が計画されており将来的な交通需要の増加が見込まれる。</li> <li>木材港と廿日市IC間は高規格道路のミッシングリンク箇所であり、アクセス経路は渋滞による所要時間のばらつきが大きく、物流活動の阻害が発生。</li> <li>当該区間の整備により、高速道路へのアクセス性が向上し、速達性、定時性が確保されることで物流活動を支援し、地域産業の活性化に寄与。</li> <li>【広島都市圏西部臨海部のIC10分圏域】 現況 34% → 整備後 58%</li> </ul>	
		災害	-	注目すべき影響はない	
環境		-	注目すべき影響はない		
	地域社会	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型クルーズ客船寄港時にはツアーバスで周辺観光地を訪れており周遊性の向上には交通混雑が課題</li> <li>当該区間の整備により、交通混雑の緩和が期待され、観光産業の活性化に寄与。</li> </ul>		
事業実施環境	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画決定手続き完了（H9.5）</li> <li>広島県知事等より早期事業化を要望</li> </ul>			

採択の理由

費用便益比が1.4と便益が費用を上回っているとともに、事業採択の前提条件が確認できる。また、当該区間の整備により交通の円滑化、交通安全の確保、高次救急医療機関への速達性・確実性の向上、地域経済活動の支援、観光振興への促進が期待でき、事業の必要性・効果は高いと判断できる。以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
※B/Cの上段の値は東広島廿日市道路を対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の費用便益分析結果

関係する地方公共団体等の意見

【広島県知事】  
一般国道2号 広島南道路（木材港西～廿日市）を予算化することについて、同意します。  
一般国道2号広島南道路は、工業・物流拠点が集中する広島湾臨海部を東西に貫く路線であり、物流機能の強化をはじめとして、広島都市圏の交通渋滞の緩和や、安全性・利便性の向上、さらには都市機能の向上に資する重要な道路です。  
このうち、商工センター以西の自動車専用道路部につきましては、事業着手されておらず、広島岩国道路との接続による広域的な交通の定時性・速達性の強化や、商業施設の立地が進む沿線地域への円滑なアクセスなど、広島南道路に期待される本来の機能が十分に発揮できない状況であります。特に、木材港西から廿日市までの区間については、平面街路も含め整備されていないことから、最優先での事業化が必要です。  
これまで広島都市圏の広域道路ネットワークの強化につきましては、国土交通省をはじめ、県や広島市、広島高速道路公社などの関係機関が役割分担のもとで、国道2号バイパスや広島高速道路、関連する周辺道路の整備を進めてきたところであり、現在も臨港道路廿日市草津線広島はつかいち大橋の4車線化の早期完成に取り組んでおります。本事業が事業化された際には、引き続き、関連道路の整備や、地元調整・用地取得などの事業実施環境の整備について、廿日市市をはじめとする関係機関で連携して取り組んでまいりますので、国におかれましても、早期の事業効果の発現に向けて、有料道路事業も含めた効率的な整備手法を検討するとともに、コストにも留意されながら、着実に事業を推進していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件

費用便益：便益が費用を上回る。  
手続き等：都市計画決定手続き完了（H9.5）

## 新規事業採択時評価結果（令和4年度新規事業化箇所）

### 事業評価結果（防災機能）

事業の必要性		
災害等による通行止め時に機能する道路ネットワークの確保や高次救急医療機関への速達性や確実性の向上、並びに観光周遊や円滑な物流活動の支援に寄与するものである。		
評価項目	地域の課題	関連する計画
救助活動等	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該区間は、高潮・津波浸水想定区域を含む脆弱な区間が存在。</li> <li>災害等による通行止め時には大幅な迂回を強いられるため、地域への緊急物資の円滑な輸送に支障となる恐れ。</li> </ul>	※中国圏広域地方計画（H28.3） ・大規模地震災害に対し、圏域内の道路・橋りょうや港湾施設等の社会資本の耐震化を強力に進め、強靱な交通・物流ルートを形成する。
住民生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>事案発生現場や傷病人の状況によっては廿日市市内から広島市内の三次救急医療施設へ搬送する場合があります、速達性及び確実性の向上が必要。</li> </ul>	※中国圏広域地方計画（H28.3） ・高次医療施設へのアクセス向上に資する道路の整備を図るとともに、ドクターヘリの導入による救急対応等、広域連携による医療機能の充実を図る。
地域経済 地域社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>広島都市圏を訪れる観光客は増加傾向にあり、大型クルーズ船の寄港も増加している。また宮島や平和記念公園といった観光地を周遊するツアーのバスルートが混雑する課題。</li> <li>近年開発が進む、広島都市圏西部の臨海部から高規格道路へのアクセスに課題があり、円滑な物流活動を阻害。</li> </ul>	※広島広域都市圏発展ビジョン（R3.3） ・原爆ドームや宮島の厳島神社、岩国の錦帯橋等の歴史的建造物に加え、伝統芸能や海・山の幸など圏域内の様々な観光資源を結び付け、個々の魅力を相乗的に高めることにより、圏域全体として誘客の促進を図るとともに、圏域内に広域的な観光ルートを創出し、滞在型観光客の拡大に取り組む。 ・圏域内の各市町間を結び、人流・物流を支える都市基盤施設である広域幹線道路ネットワークの充実・強化に向けて、圏域内市町が一体的に取り組む。
その他		

事業の有効性									
<ul style="list-style-type: none"> <li>当該事業の実施により、主要拠点間のリンクの評価はDランクのままであるものの、累積脆弱度の値が改善することによりネットワーク全体の防災機能が強化される。</li> <li>また、本事業において、災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークが形成されるとともに、交通の円滑化、交通安全の確保および経済活動の活性化に寄与するなど有効性の高い事業と評価する。</li> </ul>									
道路ネットワークの 防災機能	主な区間		改善ペア数	脆弱度 (防災機能ランク)		累積脆弱度の 変化量	改善度		評価
				整備前	整備後		通常時	災害時	
	広島港湾・ 空港整備 事務所	廿日市市	13 (1)	1.00 (D) 〔1.00〕 (D)	1.00 (D) 〔1.00〕 (D)	▲22.26 (▲0.30)	0.07 (0.06)	0.00 (0.00)	○

事業の効率性
<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画決定手続き完了（H9.5）</li> </ul>

※道路ネットワークの防災機能の上段の値は、東広島廿日市道路を対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の防災機能評価結果。